

純心だより

7月

るお手伝いができるよう、私たちも精一杯頑張ります。

副理事長 岸 史



同窓会が開催されました！

ポエム保育園・こども園では、小学校に進学した卒園児に声をかけ、同窓会を開いています。今年は、昨年・一昨年の卒園児と楽しい時を過ごしました。久しぶりに会う仲間に再会を懐かしむ中、同窓会が始まります。

2部構成の同窓会。まずは一般社団法人電池工業会による「手作り乾電池教室」が行われました。オリジナル乾電池の手作り体験が中心の活動の中で、科学への関心を深めました。

体験学習のあとは、旧交を温める交流会。いろいろな小学校に分かれた子どもたちだけに、久々の再会に感動です。準備された軽食ブースもぎわいますが、やはり、本場香川から取り寄せたうどんが大人気。取っ手のついた特製うどん鉢でおいしくいただきました。

時を経て、保育園・こども園に集まり、大きく成長した姿を見せあい語り合う場を、これからも提供できればと夢が広がります。ポエム保育園・こども園はもとより、岡山純心会・愛あい会の各施設は、地域のよきところとなるよう、これからも門戸を広げて頑張つてまいります。



次回は8月20日に開催します。

テーマは、「訪問ヘルパー」と「介護保険」についてです。ヘルパーの仕事内容をヘルパーが介護保険についてはケアマネージャーがお話しします。

皆様のご参加をお待ちしております。



第152号 令和6年7月

今年も夏がやつてきました。暑い暑い日々が続きます。屋外に立つているだけで汗が吹き出します。ひまわりが咲き誇り、木々からはセミの声、夜になるとカエルの合唱と、肌に感じる気温だけでなく、目にも耳にも真夏を感じる毎日です。地球温暖化のため、毎年夏の気温が上がっています。私が子どものころの夏休みには「朝の涼しいうちに宿題をしておきなさい」と言わされたのですが、今は午前中も涼しくなく、昼にもなれば灼熱です。クリニック外来では熱中症の患者様も増えており、食欲がなくなつて点滴のために入院される患者様もいらっしゃいます。電気代は高いですが、屋内でエアコンをつけて、のどが渴いたと思わなくて水分をしつかり摂るように心がけていただければと思います。

皆様にも、とろとろでんやかき氷など、涼を楽しむものを提供して差し上げたいと考えております。毎朝のラジオ体操もやりましょう。何とか元気に乗り越えたいのですね。

ところで皆様はスポーツ観戦はお好きですか？私は中学から大学までバスケットボール部で、勉強もせずバスケットボール三昧でしたが、大学卒業後はもっぱら見る専門です。この時期は甲子園が始まるので毎年楽しみですが、今年はオリンピックがあり、今から楽しみでいっぱいです。日本は今バスケットボールもバレー、卓球も強いですし、陸上競技も水泳も柔道も楽しみです。また、スケートボードやブレイキングなど私には評価の仕方がわからない競技もあるようです。ただ、パリとの時差を考え、寝不足にならないように気をつけたいと思います。皆様はどんなスポーツがお好きでしょうか？

スポーツを見るのが好きな方もそうでない方も、何か楽しみを持つて日々を過ごしていただきたいと思います。夏を楽しんで元気に乗り越え



きらめき居宅介護支援事業所のご紹介



こんにちは! きらめき居宅介護支援事業所の紹介をさせて頂きます。きらめき居宅には現在3名のケアマネージャーが在籍しております。きらめき居宅を訪ねてくるスタッフによく、「いつもここは明るくて雰囲気が良いですね」と言われるぐらい3人ともマイペースなところはありますが、いつも明るく笑顔の多い事業所になります。良かつたら覗きに来てください(笑)

さて、私たちケアマネージャーは実際に身体に触れる介助は行いませんが、ご利用者様が長く住み慣れた自宅で生活ができるよう、在宅で利用できる介護サービスを紹介・組み立て、調整していく役割を担っています。いわば、介護保険サービスの舵取り役です。そのため、ご利用者様やご家族様の意向を聞くのはもちろん、全体を見渡して言葉だけでは掴めない問題点や、ご利用者様やご家族様の本来持っている力が引き出せるよう支援する力が必要となります。毎月1回(要支援の方は3ヶ月に1回)ご自宅を訪問させて頂き、お話しを伺つたり、ご自宅での様子を拝見させて頂いております。ご自宅訪問の際は、ご利用者様やご家族様にはいつも快く受け入れて頂き、私たちにとってはいつもありがとうございます。また、ご利用者様はもちろん、ご利用者様を支えておられるご家族様のお話を聞くと勉強にもな

岡山純心会 7月の予定とお知らせ	
和菓子の日	五日 全施設
誕生日会	十七日 全施設
七夕会	五日他 各施設



りますし、ご利用者様に対する強い想いに感動することもあります。あるご家庭ですが、要介護3から要介護5になられた男性がおられ、最初は介護がまったくできなかつた奥様が「それでも夫と一緒に生活したい」と希望され、自宅介護を勉強しながら一生懸命お世話をされました。私もそんなご夫婦の生活を支えるため、今何が必要かを見極め必要な介護サービスを組み立てていきました。そして、今ではご自宅でご夫婦穏やかな時間を過ごされています。そのような姿を拝見していると、ケアマネージャーという仕事をしていて良かったなあと感じます。

最後になりますが、愛育委員会の見学会や認知症カフェでは地域の方とも交流をさせて頂いております。「今介護は必要ないけどなつた時にどうしよう?」「今近所の方で援助が必要な人が居るかも?」と思う方が周りにおられましたら、ぜひきらめき居宅へご相談ください。今後も純心会理念である、想いとやさしさの伝わるケアを行い、地域の方に信頼される事業所を目指して頑張りたいと思います。

